

京田辺市行政改革推進委員会（第4回）

日時)令和5年12月26日(火)

午後2時45分～午後3時30分

会場)京田辺市役所 議会会議室

会議名	第4回京田辺市行政改革推進委員会
日時	令和5年12月26日(火) 午後2時45分～午後3時30分
場所	京田辺市役所 議会会議室
内容	【議事録】 1. 開 会 2 会長あいさつ 3 議事 (1)報告 第3回委員会の会議録について (2)協議 「京田辺市行政改革大綱（令和6年度～令和13年度）」（パブリックコメント案）について 4 その他 5 閉 会
出席者	委員 野田会長、鈴木副会長、塩谷委員、青木委員、寺西委員、大崎委員、日下委員 市側 辻村副市長、事務局（企画政策部長、総務部長等）
傍聴者	なし

●議事要旨

(1)報告

①第3回委員会の会議録について

配付資料に基づき、事務局から説明

【質疑応答】

(委員)

公共施設の修繕などに関する総合的な施策というのは、どうなっているのか？例えば橋梁や道路の補修、それに対する予算はどう手当てするか、総合的な対策についてどのように考えるのか？

(委員)

公共施設総合管理計画の策定を国が要請している。市内の橋梁、道路、学校などの大規模な修繕も含めた計画は、京田辺市でも策定されているのか？

(事務局)

15 ページに記載のある「保有施設の最適化」の中には、そういった施設の新設、更新需要に加え修繕等も入っており、施設ごとに最適化するのではなくて全体で最適化するための計画が公共施設等総合管理計画である。平成 28 年度に策定し令和 3 年度に改定を行っている。道路や橋梁に関してもこちらの計画の中に包含されており、これらも含めた最適化を今まさに進めている。

(委員)

総合管理計画を策定するのは良いが、各自治体が財源の問題で思い通りに進んでないという声も聴く。京田辺市ではどうか？

(事務局)

公共施設総合管理計画を策定し、その中で出てくる事業費を各担当課で計算し、その積み上げが実際に持続可能かどうかという検証は毎年度行っており、それを踏まえたものが今回作成しているシミュレーションになっている。

(委員)

消防署が井手や宇治田原にも展開しているが、広域消防に移行しない理由があるのか？金銭面の課題なのか？

(事務局)

現在は、井手や宇治田原から事務委託を受けている。組合との比較があったのかという経緯は把握していない。

(副市長)

府南部は広域化があまり進んでいない。久御山や精華、宇治や城陽も単体で行っている状況。今後、京都市以南の指令センターの広域化が進められており、こういった動きをきっかけに徐々に進んでいくことも考えられる。

(委員)

16 ページのデジタル化の記載で、未来社会が S o c i e t y 5.0 となっているが、この概念自体が 2010 年代にすでに言われてきているもので、6.0 や 7.0 という話が出てきて新しい価値も言われ出しているのでは、少しアップデートした方がよいのではないかと S o c i e t y 6.0 自体はまだまだ賛否両論あるので、表現の工夫が必要と考える。

(事務局)

今の最新の形で、表現を改めることとする。

(委員)

大住地域に物流施設が立地しているが、経済的な影響と交通渋滞などのマイナス面をどのように考えるのか？雇用面でどの程度のメリットがあるのかも含めて疑問に思うこともある。

(事務局)

新名神高速道路の城陽八幡間ができて、これにより物流関係の引き合いも大変大きい地域になっているが、メリットやデメリットについては慎重な判断が必要である。物流施設は昔の倉庫のようなイメージではなく、A I なども駆使した最先端の施設となっている。そういう意味で人、税金など地元自治体にとっては大きな影響がある。一方で交通渋滞などの懸念もあり、そういう実情があるなら地元との協議も必要である。

(委員)

商工会の立場でいうと、中小企業からの人材流出という問題もある。零細企業はなかなか給料も上げられない事情もあり、そういう課題もある。

(事務局)

立地される大きな企業と、市内の商工会の企業とウィンウィンの関係を構築できれば一番いい形である。

(委員)

全国的に企業誘致もままならない中で、立地する企業があるというのはよいことであ

り、マイナスを極力抑えるように進めていく必要がある。

(委員)

組織マネジメント「人材育成」については、社会福祉の分野でも専門的な人材をいかに獲得するかがとても重要であり、そういう方々の育成に本腰を入れて取り組む必要があると考えている。

(委員)

人材育成、人材確保は各自治体苦慮しているところであるが、継続的にやっていく必要があると考えている。

(事務局)

人材確保については、前回の委員会でも議論になったところであるが非常に厳しい環境にあるのは間違いない。実施計画の策定に当たっては、担当課とも調整しながらできるだけ具体的な施策を出していきたい。